

① 基本的視点

- インターネットの在り方・役割(特長としての「自律・分散・協調」、通信手段の高度化・低廉化、自由な表現の場、イノベーションの創出など)と目指すべき姿・均衡点(利用者の権利(公平な利用等)の保証、競争・新規参入の確保など)
- 「ネットワーク中立性」が確保されるための要素・基本的な考え方(「ネットワーク中立性」の意義、環境の変化を踏まえた従前の「三原則」の有効性検証・再確認など)
- 本研究会における検討スコープ(CDN等のインターネットトラフィックに関わる様々な取組等を踏まえつつ、the Internetへのアクセスサービスを提供するネットワークレイヤーを中心に、消費者や上位レイヤーとの関係性を含めて議論)

② 具体的検討項目

①プラットフォームレイヤー・コンテンツレイヤーを含むレイヤー内・レイヤー間の健全な競争環境の確保、②イノベーションや持続的なネットワーク投資の促進、③十分な情報に基づく消費者の選択の確保を図るため、ネットワークの利用及びコスト負担の公平性の観点から、以下の項目について検討。

- トラフィックの優先制御(対象サービス、技術的条件、運用の検証)、適切なネットワーク管理(平時及び非常時のトラフィックの混雑への対応)についての整理(通信の秘密との関係性の整理を含む)
- ゼロ・レーティングやスポンサーデータ等に関するルール(利用者・社会にとっての価値・便益、利用者の権利や競争に与える影響、消費者・事業者に対する情報提供・説明責任の在り方)
- 技術革新及び通信技術を活用した新たなサービスの登場を見据えた、ネットワークへの持続的な投資を可能とする仕組みの形成、各ステークホルダー間の費用分担の在り方(必要性)

③ 「ネットワーク中立性」を確保・維持するための仕組み

- 「ネットワーク中立性」確保のためのルールの在り方(法的規制、自主規制、共同規制、市場原理(競争)を通じた確保、関係者の関与の在り方など)
- 事業者による消費者や他の事業者に対する情報公開の在り方
- 「中立性」の確保状況の検証に必要となるデータと、その測定・収集・分析・検証・公表に係る体制

【インターネットが果たしてきた役割】

- **世界中の人・端末とつながる高度かつ低廉な通信手段の提供**(メール、VoIP、TV会議システム等)
標準化された通信規約に基づき、世界中の多様な主体が自律・分散・協調して運営するネットワークが相互接続されており、利用者は多様なアプリケーション・端末を活用して世界中の人・端末と情報をやり取りすることが可能。
- **自由かつ多様な表現の場の提供**(Web、掲示板、SNS、検索エンジン等)
個人を含めた多様な主体が、知識、アイデアや作品等を公開、他者と共有、議論することが可能。多様かつ膨大な知識、アイデアや作品等に容易にアクセスすることが可能。
- **イノベーションの場の提供**(オンラインショッピングモール、オンラインバンキング、コンテンツ配信、多様なニーズのマッチング等)
個人を含めた多様な主体が、国境を越えて多様なサービス・コンテンツを提供し、協調・協創することが可能。(リアルの世界での活動・業務の効率化・利便性向上をもたらすものと、全く新しい価値を生み出すものがあるのではないか。)

インターネットが今後も役割を果たす上で、「ネットワーク中立性に関する懇談会」(2006年11月～2007年9月)において提唱された以下の3原則は、十分機能するか。

【ネットワーク中立性を確保するための三原則】

- 1) 消費者がネットワーク(IP網)を柔軟に利用して、コンテンツ・アプリケーションレイヤーに自由にアクセス可能であること
- 2) 消費者が技術基準に合致した端末をネットワーク(IP網)に自由に接続し、端末間の通信を柔軟に行なうことが可能であること
- 3) 消費者が通信レイヤー及びプラットフォームレイヤーを適正な対価で公平に利用可能であること

【参考:欧州委員会ネットワーク中立性規則】

利用者の権利

エンドユーザーは、……インターネットアクセスサービスを通じて、情報やコンテンツに接続及び配信し、アプリケーションやサービスを利用及び提供し、自ら選択した端末を使用する権利を有する。

利用者・事業者間の合意

インターネットアクセスサービス事業者がエンドユーザーとの間で、取引上及び技術上の条件や、価格、データ容量、速度等のインターネットアクセスサービスの特徴に関する合意を締結することは認められる。ただし、その合意が上記のエンドユーザーの権利の行使を制限してはならない。

事業者の義務

インターネットアクセスサービス事業者は、インターネットアクセスサービスを提供する際に、すべてのトラフィックを平等に取り扱わなければならない。

【「スコープ」の観点から整理した検討項目】

- 「the Internetへのアクセス」に関する利用者の利益を保護する観点から、「ネットワーク中立性」に関するルールを検討。
- 「ネットワーク中立性」確保の中心となるのは、アクセスサービスを提供するネットワークレイヤー(ネットワーク事業者/ISP)。
- 各レイヤー内やレイヤー間の健全な競争環境の確保等の観点から、ネットワークレイヤーと他レイヤー(コンテンツプロバイダ、プラットフォーム)や利用者との関係性を含めた議論が必要。

